



世界自然遺産の島 屋久島

No.37

平成29年
3月

屋久島町 議会だより



「にじいろの樹」で働く仲間たち
(福祉施設紹介) NPO 法人じゃがいものうち (P15 へ続く)

《主な内容》

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| ◇第4回定例会 | 2~13 | ◇一般質問 | 6~9 |
| ◇総括質疑 | 5 | ◇臨時議会 | 11 |
| ◇常任委員会報告 | 4~5 | ◇[福祉施設紹介] | 15 |

12月定例会の報告

平成28年 第4回議会定例会

会 期	12月6日～15日
審議条件	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度一般会計補正予算 平成28年度簡易水道他6件の特別会計補正予算 条例案=6件 ・同意案=1件 その他=6件(議員発議1件を含む) 陳 情=1件 平成27年度電気事業特別会計未処分利益剰余金の処分について 平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について 平成27年度簡易水道他7件の特別会計歳入歳出決算認定について
可決等状況	ごみ処理施設に関する陳情については、継続審査となったが、その他は全て原案のとおり可決・同意・認定された。

条例の制定及び一部改正

- 農業委員会に関する条例の制定Ⅱ〔農業委員会等に関する法律の改正に伴う制定〕
- 一般職員の給与に関する条例の一部改正及び学校職員の給与に関する条例の一部改正Ⅱ〔平成28年人事院勧告に基づき給与改定を行うための改正〕
- 障害児就学指導委員会条例の一部改正Ⅱ〔平成25年9月に施行された学校教育法施行



元気に遊ぶ園児たち(なかよし保育園)



宮之浦川沿いに立ち並ぶ街路灯

令の一部改正等に伴う一部改正

- 公民館条例等の一部改正Ⅱ〔公民館、生活館、へき地保健福祉館の所在地番等が現況と異なるものを修正するため一部改正〕
- 電気料金収納員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正Ⅱ〔地方自治法の改正に伴う一部改正〕

補正予算(▲は減額)

◇一般会計補正予算

- 歳入歳出の主なものは人件費の増減、支出額確定等による不用額の減で9481万8千円を減額し総額を111億3108万5千円とするもの。
- 【主な歳入】
- 障害者総合支援給付費等負担金Ⅱ1千万円
- 保育所運営負担金Ⅱ2643万1千円
- 漁港施設災害復旧費負担金Ⅱ497万2千円
- 寄附金Ⅱ4200万円
- 【主な歳出】

- ふるさと納税返礼品代Ⅱ2100万円
- ふるさと融資貸付金Ⅱ1億9千万円
- 障害者支援費Ⅱ2千万円
- 後期高齢者医療広域連合負担金Ⅱ7713万円
- ごみ焼却場燃料費Ⅱ▲700万円
- 有害鳥獣捕獲対策事業補助金Ⅱ▲800万円
- 屋久島観光協会補助金Ⅱ300万円
- 口永良部島・看板付街灯設置委託料Ⅱ450万円
- 宮之浦街路灯設置工事Ⅱ515万円
- 吉田漁港災害復旧工事Ⅱ621万6千円
- 特別会計
- ◇簡易水道事業補正予算
- 南部及び西部地区の事業費の減額により、1億1084万9千円を減額し、総額を5億6528万円とするもの。
- ◇国民健康保険事業補正予算
- 保険給付等の増額を財政調整基金などを充て、7287万6千円を追加し総額を25億7564万3千円とするもの。
- ◇介護保険事業補正予算

第4回定例会

保険給付費の組替えを行い、人件費の減額を一般会計繰入金などで調整、470万1千円を減額し、総額を14億4819万9千円とするもの。

◇**診療所事業補正予算**
人件費及び不用額の減額などを一般会計繰入金などで調整、770万円を減額し、総額を1億9143万円とするもの。

◇**船舶事業補正予算**
人件費の減額などを運賃収入、一般会計繰入金で調整、496万3千円を減額し、総額を3億225万3千円とするもの。

◇**電気事業補正予算**
人件費等の減額を予備費で調整し、総額6億7785万9千円に変更なし。

◇**後期高齢者医療事業補正予算**
人件費の減額などを繰入金などで調整、6万9千円を追加し、総額を1億4746万9千円とするもの。

その他

○**債権の放棄について**〔本人死亡により履行される見込みのない電灯料金の債権を放棄するもの〕

○**教育委員会委員の任命について**〔12月25日任期満了となる川東かな子氏を引き続き委員として任命するもの〕



川東 かな子 氏

○**過疎地域自立促進計画の変更について**〔過疎債充当事業及びその額の変更に伴う計画変更〕

○**辺地総合整備計画の変更について**〔新たに診療所施設及び観光・レクリエーション施設への辺地債の充当や平成28年度起債額の変更に伴う計画変更〕

○**口永良部島辺地総合整備計画の変更について**〔口永良部診療所の雨漏り改修等の大規模な整備が必要になったことに伴う計画変更〕

○**新町まちづくり基本計画の変更について**



口永良部診療所

〔法改正により、東日本大震災の被災合併市町以外の「その他の合併市町も防災対策の見直し等を要するため、合併推進債の起債可能期間が5年間延長されたことに併せ、新庁舎建設を含む起債可能期間を平成34年度まで延長するための計画変更〕

決算委員会付託事件

○平成27年度電気事業特別会計未処分利益剰余金の処分について

○平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について

○平成27年度特別会計（簡易水道事業・国民健康保険事業・介護保険事業・診療所事業・農業集落排水事業・船舶事業・電気事業・後期高齢者医療事業）歳入歳出決算認定について

議員発議第1号

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について

意見書の趣旨〔昨年の統一地方選挙で町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。従って地方議会議員の年金制度を時代に相応するものにするのが、議員を志す新たな人材確保につながると考えることから、厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう内閣総理大臣等に要望する〕

以上、提案された全ての議案を原案のとおり可決・同意・認定した。

第4回定例会議員表決一覧

（賛否の分かれた議案等のみ）○は賛成 ●は反対

※議長を除く

件名	議員名 結果	石田尾	日高(忠)	緒方	永野	山崎	真辺(有)	岩川(修)	小脇	下野	岩川(俊)	日高(豊)	真辺(万)	寺田	渡辺	満園
		平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	可決	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○

常任委員会審査報告

(付託された議案を質疑、討論を経て採決します)

産業厚生常任委員会

債権の放棄

- 問) 安房電気利用組合や農協の滞納処理は。
答) 農協は集落が集金しているので滞納はないと聞いている。安房電気利用組合もほとんどないと聞いている。町も最近の滞納はほとんどない。
- 問) 送電停止は滞納何ヵ月か。
答) 条例は2ヵ月である。
- 問) 滞納者230名で金額は約6000万円あるが時期的にはいつ頃のものか。
答) 昭和から平成の一桁台までである。
- 問) 滞納者に対する今後の対策は。
答) 集金人等と連携を密にして収納に努める。

農業委員会に関する条例の制定

- 問) 有休農地の解消で、有休農地を畜産に移行した場合の取り扱いは。
答) 採草地の目的であれば農地扱いだが、畜舎を建てる場合は農地転用扱いとなる。
- 問) 農業委員と農地利用最適化推進委員の業務の分担は。
答) 基本的には一体となってパートナーとして現場活動を行う。また、農業委員は総会での議決権をもつが、推進委員はその責任はないが総会時に意見を述べることはできる。
- 問) 農業委員は町長選任になるのか。
答) そうだが選考委員会を設置し選考したい。

一般会計補正予算(分割)

- 問) 宮之浦児童館の修理内容は。
答) 雨漏りが3ヵ所で、二重構造になっており、下の段を修繕すれば止まる。
- 問) 入山協力金の臨時職員3名の業務内容は。
答) 収納業務で、場所は淀川登山口と白谷雲水峡である。
- 問) 電気溶融炉が故障している間、ゴミを島外に出すことは検討しないのか。
答) 島外に出すことを業者に相談している。

- 問) 観光協会の会費の未納額は。
答) 約250万円ぐらいである。
- 問) 組織全体の前向きさに疑問を感じるが。
答) 会長に理事自ら回収する取り組みが必要ではないかと伝えている。
- 問) 鳥獣被害予算の減額は。
答) 全体的に捕獲が計画の7割しかないので減額した。
- 問) 寝待温泉の土石流入についての今後は。
答) 復旧について結論は出ていない。関係機関と最善の方法を検討している。
- 問) 源泉を別場所に引くことは考えられないか。
答) そこまでは考えていないが口永良部島民と協議したい。

簡易水道事業補正予算

- 問) 事業費減額の今後は。
答) 30年度までスライド分は補助でみる。西部地区の6割カット分を2年で実施する。29年度予定の南部事業は30年度に実施する。

以上、付託された案件は全て原案のとおり可決すべきものとした。



大雨で災害を受けた寝待温泉



宮之浦児童館

総務文教常任委員会

障害児就学指導委員会条例の一部改正

問) 改正の具体的な内容は。

答) 今まででは継続支援がなかった。今後は指導ではなく支援をおこなっていく。

屋久島町辺地総合整備計画の変更

問) 1億5千万円の減額の大きな要因は。

答) 一番の要因は南部地区の水道施設である。

口永良部島辺地総合整備計画の変更

問) 噴火に対する防災や寝待温泉の変更を含めた復旧等は対象にならないのか。

答) 平成27年度から31年度の事業であり、議会で承認済みの事業なので、新しい事業がどれに該当するかで変わってくる。防災施設関係は他の事業で取り組むべきものであり、辺地総合整備計画に入れると、他の事業が押し出される懸念もある。精査しながら進めていく。

一般会計補正予算

問) みどりの基金について、船行の大杉と楠川の山桜の保全とあるが、支出には船行の大杉保全しかないが。

答) 船行の大杉は町指定文化財であり、楠川は

集落からの要望である。執行残ができれば、楠川の山桜も対応する。

問) 交通安全対策費のカーブミラーはどこに設置するのか。

答) 口永良部島に事業費50万で20基の整備を行う。財源は、だいきき基金からの繰り入れで対応する。



船行神社境内の大杉

総括質疑

所属する委員会以外のことについて
本会議で質疑を行なうものです。

問) 島内産産材需要拡大対策事業補助金の内容は。

答) 地元材を使って住宅を造る場合の補助で、建設を行う会社に支払われる。今回は見込んでいたより受注が増え、予算不足が見込まれるため、すでに受注されている10件分の補正である。

問) 新規就業者対策特別交付金の250万円の減額の内容は。

答) 新規漁業就業者が新造船を購入する場合、漁業集落とリース関係を結べば振興資金が借りられる制度だが、対象者がいなかったため減額となった。

問) 屋久島観光協会への300万円の増額補正の理由は。



答) 新体制のもと観光協会の経営改善の努力が続いているが、まだしばらくは苦しい状況が続く見込みである。特に財政は危機的で、資金ショートによる雇用喪失や案内業務への影響が深刻化しており、今回限りの補助金という判断にいたった。

問) 観光協会への補助金の交付は、規則にのっとり手順を踏んで議会へ提案しているのか。

答) 今後そのように対応したい。

問) 口永良部島の看板付街灯設置委託料450万円の内訳は。

答) 観光客や地元から要望があった、夜間でも安全に観光ができる環境を整えるための看板設置で、観光情報の発信など復興につなげたい。財源は8割が「特定離島ふるさとおこし推進事業」、2割を「大好き基金」で2カ年かけて実施する。今年度は3基、来年度は7基予定している。

一般質問

6人が町の考えを問う

12月7日と8日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

クリーンサポートセンターについて 町長／処理方式を見直す必要がある



石田尾茂樹 議員

問 維持管理費についてのよう認識し、今後の運営計画は。

答 運転管理費が、ここ数年3億円を超え年々増加傾向にある。現在のごみ処理システムでは、財政への負担が大きいため、町内で発生する一般廃棄物の適正な処理を継続的かつ安定的に実施することが難しい。起債の償還終了後の早い時期に新たな施設の計画を策定したい。

問 エコマメタンについての将来的な展望はあるか。

答 いろいろ検討しているというのがあるが、楠川温泉でボイラを設置し実証実験を行っている。少しでも消費できるようにしていきたい。

問 現状の管理業務委託業者の総合評価を伺いたい。

答 廃棄物処理施設の運転管理は、施設の機能を熟知した業者が継続的に管理をすることで、安定的な運転が可能となり、性能を維持させるためにも実績と経験が必要である。現在の委託業者は、従業員を地元から雇用し、福利厚生なども充実しており、財務状況も問題なく、当施設を継続して運営できるだけの企業規模を有している。技術力及び本施設についての知見が担保され、運転管理上の安全・安心・安定稼働と地元雇用の継続にも寄与することから、現行の業者が最高であるとの評価をしている。

問 委託業者の、資格を持った人が入っても、すぐやめていく低賃金で抑えられている実

態があるのではないかと、助言なり提言を。

答 なかなか難しい問題で、従業員が長く続かないということは、何らかの原因があると思うので、少しでも改善をできるような話をした。

問 委託契約の仕様書を改善すべきでは。

答 来年度以降の仕様書については、詳しく載せるよう改善していきたい。



クリーンサポートセンター

公共施設トイレの改善 を 町長／より良い環境整備に努める



真辺 有次 議員

問 全国的に学校トイレの改善が進んでいるが本町も取り組むべきでは。

答 学校から様式便器設置の要望は多いので年次的に洋式化をはかりたい。また、北部地区の小学校は校舎と別棟なので大規模改造等の事業に併せて整備したい。

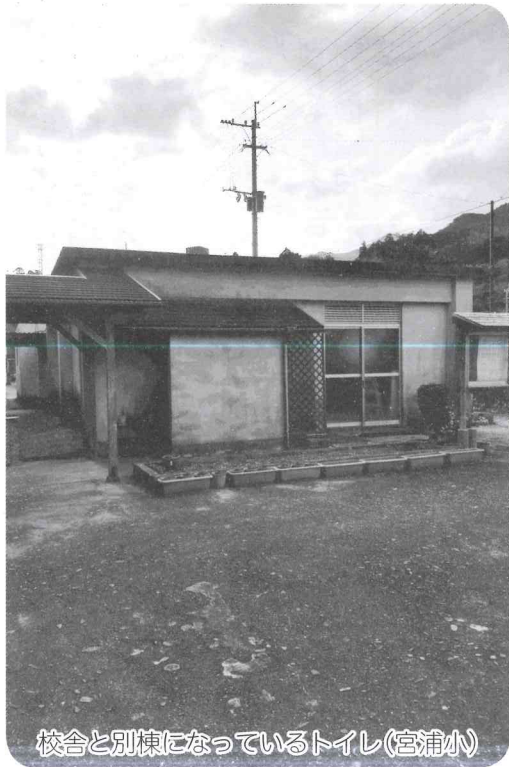
問 建て替え予定の金岳小学校は最新のトイレにしたらい。

答 予算をみながら検討したい。

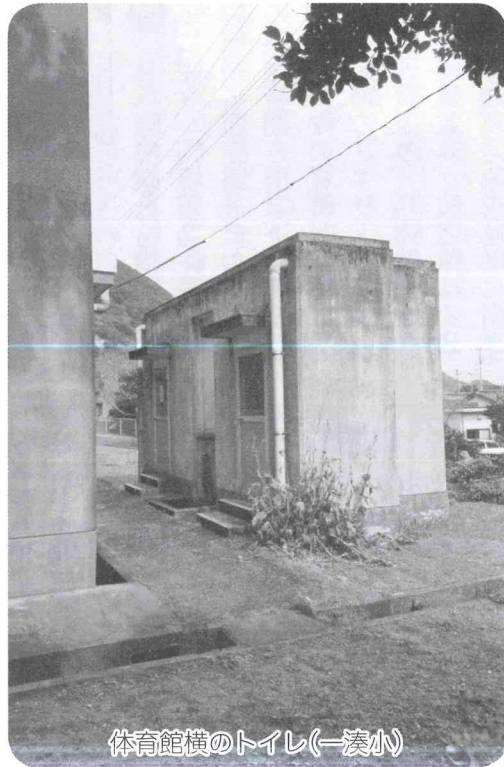
問 予算を付けるのは町長だがこのことをどう思うか。

答 児童生徒は屋久島・日本の宝なので、良い環境の学校づくりに鋭意努力する。

※本町・本県・全国公立小学校の洋式・和式便器設置の



校舎と別棟になっているトイレ(宮浦小)



体育館横のトイレ(一湊小)

比較は次のとおり。

全国	和式57%	洋式43%
本県	和式70%	洋式30%
本町	和式83%	洋式17%

問 災害時指定避難所となっている公民館・体育館等のトイレの改善が必要では。

答 公民館等は改修希望のあった所は和式から洋式へ改修している。安房体育館は今年度改修中なので可能であれば洋式にしたい。宮之浦体育館は調整・検討したい。

問 新庁舎建設後の支所のあり方、配置する人員、建物の使い道は考えているか。

答 新庁舎建設後の支所のあり方、配置する人員、建物の使い道は考えている。3903名の署名の結果をどの様に考えるか。
答 重く受けとめており町政運営の甘さを反省している。
問 住民の三分の一にあたる数である。庁舎建設を一時中止して、見直す等検討する必要があると思うか。
答 議会に於いて説明しており、町民の皆様の御理解は得ていると考えておりますので計画どおり進める所存です。しかし建設費用に不安の声が寄せられたことも、署名の背景にあるようですので、検討し、見直せる部分については町民の意見も参考にして計画変更も視野に入れて考えていきたいと考えています。

小脇 清保 議員

「屋久島の未来を考える会」の解職請求について



設計事務所による議会への説明

答 支所のあり方、人員配置等は現状決定はしていない。基本的には全ての課を新庁舎に集約することになる。使い道については、他の公共施設への転用や、民間事業者への貸し付けも検討し有効活用したい。
問 現在の職員数と新庁舎完成後にいくらしするという具体的目標数をお示し下さい。
答 10月1日現在184名であり、完成後は171名に削減することを目標としております。

航路・航空路運賃引き下げの開始時期と引き下げ額や購入方法等の概要は

町長／新年度から引き下げを実施する。引き下げ額や購入方法等は関係機関で調整中



寺田 猛 議員

問 有人国境離島特措法の制定に伴う、国境離島住民向けの航路・航空路運賃の低廉化の実施時期と引き下げ規模、購入方法等の見解を伺う。

答 航路のフェリーはJR在来線運賃並み、高速船はJR特急運賃並み、航空路はJR新幹線運賃並みを基準に引き下げ幅を決定する。新年度から事業実施に向け各運行会社や県と協議中、金額等細事項は3月議会で公表する。

OWSの国体開催地として積極的に誘致活動をすべきでは

町長／一湊海水浴場での開催がほぼ決定。関係機関と協議する

問 鹿児島国体での競技種目であるオープンウオートス・イミングの大会会場として、一湊海水浴場は有力な候補地であり、町として実現に向けて積極的に関係機関に働きかけるべきだと思いが見解を伺う。



フェリー屋久島Ⅱ

問 当地は、昨年の噴火災害以降、深刻な人材不足が顕著となっている。復旧・復興には人材確保が急務であり、移住・定住を促す為のソフト事業等に当基金を有効に活用すべきと考えるが見解を伺う。

答 復旧・復興に役立つものであれば、ソフト事業でもハード事業でも基金の運用は可能である。島民の総意として区民総会等で決議して基金運営委員会に提案してほしい。

答 六月に正式決定するが、今後は一湊区や漁協、国体準備室、水泳連盟等の関係機関と協議を重ねる。経済効果も期待されるので、国体会場に相応しい会場周辺の整備を含め準備を進めたい。

口永良部島復興支援基金を有効に活用すべきでは

町長／島民の総意で復旧・復興プランを提案して欲しい

ヤンバルトサカヤステの防除対策は

町長／細心の注意を払い、発生地区との連携を密に行い、駆除作業に当たりたい



山崎 利広 議員

問 ヤンバルトサカヤステの発生状況、防除対策は。

答 現在では17地区にまで生息域が拡大し、平成26年度の異常発生以降、近年、若干の減少傾向が見られた。今後も細心の注意を払い、発生地区との連携を密に行い、駆除作業に当たりたい。



夜間の防除作業(右下は大量発生したヤステ)

専門業者に駆除作業を委託するほか、平成26年度からは尾之間支所に専門の臨時職員を配置している。

また、大量発生が予想される6月から12月は日中の他、20時以降の作業も行っている。さらに、発生地区の住民が実施する作業に対し、薬剤提供と蔓延防止対策交付金として必要な物品や燃料等の支援をしている。その他、住民

の理解を深め土や植物の移動による人的要因の拡大を防ぐため、害虫の性質や状況等を町報等で広報している。

今後も害虫による精神的苦痛や負担を軽減するため必要な予算を確保していく。

問 蔓延防止のための広報を更に徹底して行うとともに集落の協力を得ながら日程を決め、一斉駆除を実施する考えはないか。

答 各集落と協議し、夜間敷布も含めて取り組みたい。

新庁舎完成を踏まえた職員の数管理計画は

町長／適正な機構改革と人員配置を急ぎ、新庁舎移転に備えたい

問 職員の定員管理計画及び実数の推移は。

答 普通会計の職員は、合併時の201名から53名減少しているが、当初計画の130名には達していない。

問 新庁舎完成を踏まえた職員の定数管理計画は。

答 新庁舎建設の最大の効果は、行政のスリム化なので適正な機構改革と人員配置を急ぎ、新庁舎移転に備えたい。

また、職員の資質向上を図る上からも県や他団体との人事交流にも力を入れたい。

スクールバスの今後の方向性は

教育長／同一距離でも学校によって通学補助に差があり、不均衡が生じている。これを見直すため、遠距離通学者のみをバス通学対象者とした。

また、貸し切りバスではなく、路線バスを利用した通学補助を考えている。

庁舎建設の実施は、事実上一年先延ばしとなった。時間は十分にある。フォーラム棟を含め、町民に歓迎される庁舎となるよう、見直しすべきではないか

町長／今年度の事業はすでに議決を得たものであり、執行者の責任として今年度計画はそのまま実施したい



渡辺 博之 議員

問 これまでも、いったん議決したもので見直しが必要になった場合、道理があれば議会は認めてきている。議決は理由にならない。議会から要請があれば、見直しするということか。

答 今年度計画は、このまま実施すると申し上げているが、議会の側から見直しの申し入れがあれば、それは考え直さないとはいえないと思っている。

問 住民運動を通しての最大の教訓の一つは情報公開のあり方だった。委員会、審議会、協議会などを含め、その傍聴

や議事録の公開など改善が必要ではないか。

答 きちんと出さなければならぬと思っている。内部で検討していきたい。

スクールバスの定期バスへの変更は保護者の合意を大前提にすべきでは

教育長／子供の安全の確保をした上で、保護者の理解を得ていきたい

問 スクールバスを定期バスに変更すること、小学校3.5km、中学校4.5km圏内徒歩通学について保護者の不安の声が広がっている。今の状況では理解は得られない。保護者の合意を大前提にすべきだ。

答 合併後の課題であった学校間格差、補助制度の統一性、均一性、たくましい子供

を育てる教育の一環として変更の理由だ。子供の安全の確保をした上で、保護者の理解を得ていきたい。



スクールバスに乗る子供たち(宮之浦・深川)

町営住宅について

問 庁舎に20億かけるより老朽化した町営住宅の建て替えが先ではないかの声が多くあった。建設計画を作成する決断を。

答 一人でも住んでいたら取り壊せないという事情もあるが、見た目や台風などを考えた上で、課内とも協議して計画なりをつくっていきたい。

行政報告(町長)

○庁舎建設関係について
多くの町民の非難の声を重く受け止める。政治的混乱を招いたことは不名誉で内心忸怩たる思いだ。無投票当選から一転の解職請求は、町政運営への甘さがあつたのではと自問し、謙虚な姿勢に立ち返らなければと反省している。町民に対して丁寧な説明と時間をかけて意見聴取する努力が足りなかった。町民との対話は一丁目一番地と考え、今後は意見交換の手段を間違わないよう研究しながら前向きに取り組みたい。

○叙勲について

元屋久島町長日高十七郎氏が旭日小授賞の叙勲を受ける。

○戦没者追悼式について

11月10日、遺族関係者110人が出席。

○口永良部避難訓練について

12月2日鹿児島県。同海上保安庁、気象台、屋久島警察署、熊毛地区消防組合が参加。本部運営訓練、住民避難訓練、負傷者救護島外搬送訓練、炊き出し訓練が行われた。

決算審査特別委員会報告

〔平成27年度一般会計及び9件の特別会計の審査報告は次のとおりです。〕

商工観光課

- 問) 観光協会への町からの補助金は窓口業務の委託費か運営費なのか。
答) これまで負担金で支出している。今年度は補助金として支出したが再度検討する。

給食センター

- 特別な理由により給食を食べない子どもがどれくらいいるか。
長期欠席者は13人、アレルギーや保護者の意向による者が7人である。
食材で地場産物を使用している割合と価格は。
給食会が8割、地場産物が2割で、価格は割高になる場合もある。

監査委員会事務局

- 問) 不能欠損処理は観光協会が行う処理ではないと思うが指摘等したか。
答) 不能欠損処理は地方公共団体が調定額を落とすため行う処理で、観光協会が行うものではない。このことは指摘している。

農林水産課

- 問) 有害鳥獣捕獲器の管理状況は。
答) 台帳を作成し管理しているが、以前のものは把握しきれていない。

選挙管理委員会

- 問) 期日前投票所の開設時間を20時に統一することはできないか。
答) 1カ所は必ず20時までと決まっている。2カ所目は短縮することができるようになっているので経費削減のためである。
問) 町長選挙、町議選挙の経費は。
答) ほぼ同額の約930万円である。

町民生活課

- 問) 特別弔慰金とは何か。
答) 戦死者の遺族へ支給される弔慰金である。

税務課

- 差し押さえ執行するまでの経緯は。
問) 国税徴収法、徴税法に基づき行っている。
答) 納期限を過ぎて20日たったら督促状を発送し、その後10日間納付がない場合は臨戸徴収も行いながら納税催告書を発送する。その後納付や納税相談がない場合は差し押さえ予告を発送して執行する。

議会事務局

- 問) 議会だよりのカラー印刷はできないか。
答) 広報委員会などで協議して決定されれば可能である。

会計課

- 問) 財政調整基金の利子はいくらあるか。また、預金の種類は。
答) 66万2,147円、預金種類は普通と定期である。

環境政策課

- 問) 山岳携帯トイレ処理業務委託料は妥当か。
答) 積算を検討する。

総務課

- 問) 防災無線の保証期間は。
答) 1年である。不具合等が業者のミスであれば業者負担となる。
問) 消防団員は定数を満たしているか。
答) 定数より減少している。

教育委員会総務課

- 問) スクールバスの在り方協議の進捗状況と運行形態予定は。
答) 北部の小中学校長とは意見交換している。今後はPTA役員、保護者との意見交換、協議予定である。運行形態については、自宅から学校までの距離が3.5キロを対象とし、路線バス活用で検討している。

社会教育課

- 問) 弓道場の歳入がないが、管理状況は。
答) 弓道連盟で管理するということで、使用料は徴収していない。



町弓道場(安房)

決算審査特別委員会報告・臨時会

介護保険事業

- 問) 滞納繰越の収納率はあまり効果が出ていないのでは。
- 答) 保険料基準額が上がったことにより、家庭へのダメージが出ているので計画的な徴収努力が必要と考える。

診療所事業

- 問) 患者診療費と診療所費の抑制につながるジェネリック薬品の投薬を。
- 答) これまでと同様、今後も勧める。

福祉事務所

- 問) 子ども子育て会議の開催状況は。
- 答) 27年度から立ち上げ、意見交換を随時開催している。
- 問) ねんりんピックへの助成については、県代表で出場するのに町が補助金を支出するのはどうか。
- 答) 県助成の要望を続けていく。

農業集落排水事業

- 問) 使用料について集落と話し合っているか。
- 答) 水道料金との整合性をはかることで値上げについては行っていない。

簡易水道事業

- 問) 使用料の過年度分収納の今後は。
- 答) 不能欠損処理等収納対策委員会で協議しながら早い段階でなくしていきたい。

国民健康保険事業

- 問) レセプト点検の電算化の内容はどうか。
- 答) 病名に対し適切な薬剤が使用されているか等の細かい内容の点検を行っている。

後期高齢者医療事業

- 問) 負担割合の1割、3割の判定には税務課とのすりあわせをしているか。
- 答) 毎年行っている。



給食センター (宮之浦)

以上の審査を経て、決算については全て認済すべきものと決定しました。

なお、各課・事務局の調書作成について、記載内容が前年と同じものが多く、委員会での意見・指摘事項を真摯に受け止め、その後の対応も含めて記載内容を精査して欲しいとの付帯意見があった。

平成28年 第4回臨時会

平成28年11月22日、第4回臨時会が開催され、平成28年度一般会計補正予算が提案された。

1億3949万6千円を追加し、総額を112億2570万3千円とするもので、原案どおり可決された。

【歳入】

・普通交付税 187万1千円
・国庫支出金 6312万5千円
・町債 7450万円

【歳出】(▲は減額)

・町道安房中学校線道路改良工事費他 ▲6975万4千円(国庫補助減によるもの)
・安房体育館改修工事他 2億925万円

平成29年 第1回臨時会

平成29年1月27日、第1回臨時会が開催され、平成28年度補正予算2件、その他1件が提案され、全て原案どおり可決された。

○財産の取得について

〔庁舎建設事業にかかる備蓄倉庫及び駐車場用地として取得するもの〕
・面積等 5393㎡(畑)

・金額 3127万9400円
○平成28年度一般会計補正予算

〔財政調整基金積立金他、3490万4千円の増額分を庁舎整備木材加工業務委託料、船舶事業特別会計繰出金で調整し、総額に変更なし〕

○平成28年度船舶事業特別会計補正予算

〔臨時船員賃金他93万円を追加し、総額を3億318万3千円とするもの〕

計補正予算

〔臨時船員賃金他93万円を追加し、総額を3億318万3千円とするもの〕



お詫び

前号(No.36)の「議会だより」で、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

○10ページの「石田尾議員の一般質問」中、

3段目の問
正 Ⅱ 防災の面からも
誤 Ⅱ 防火の面からも

4段目の答
正 Ⅱ 本町では
誤 Ⅱ 本日は

所管事務調査報告

産業厚生常任委員会

委員長 岩川 修司

11月7日から2泊3日の日程で林野庁等を訪問し、行政視察並びに調査を行いましたので報告します。

11月7日、屋久島地杉材の現状について及び屋久島地杉を使った施設の現地調査を行った。

まず、屋久島地杉材の現状について、チャネルオリジナル(株)代表取締役社長より、現在、屋久島産材は壁材、床材、デッキ材、構造材として新潟、仙台、福岡、大阪、横浜で販売しており、屋久島地杉のブランド化を目指しているとの説明を受けました。

次に屋久島地杉を使った施設の現地調査では、日野市の「日野わかかさ幼稚園」を視察しました。園長とドイツ生まれの設計士アンドレアさんに案内してもらい、視察研修を行った。壁材やデッキ材として利用されており、屋久島地杉に対しての好感度の高

さを認識しました。

また、アンドレアさんは、屋久島の杉に共感を持ち来島されました。屋久島に対しての好感度が高く、屋久島地杉を使った自分なりの設計をしたいとのことであった。

11月8日は、林野庁を表敬訪問した。

国の森林・林業対策に呼応した屋久島の林業活性化の取り組みについて、以前、旧上屋久町役場に勤めていた土居課長補佐より、森林、林業、木材産業の現状課題として、林業生産の動向、林業経営の動向、木材受給の動向、木材加工、流通の動向などの説明を受けました。

林野庁の国有林野部長、農林水産省木材貿易対策室長、林野庁次長が屋久島の杉に興味を抱き、歓迎していただき、屋久島の林業振興に対する思いが身に沁みて伝わりました。

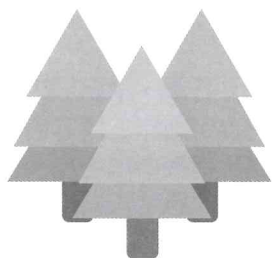
その後、港パーク芝浦の視察を行い、取組みの経緯、施設

設の概要、利用状況などの説明を受けました。

パーク内の介護予防総合センター「ラクucchya」の視察を行い、介護予防プログラムの開発・提供、個別での継続的なサポート、地域の介護予防活動のサポート、介護予防に関する研修の実施・情報の提供が活動の柱であるとの説明を受けました。

厚生に関する部分も視察できたことは、本委員会にとりて収穫の一つであった。

また、林業振興を図る上で、町、県、国が一体となって取り組むことが第一であるとの委員の意見がありました。



総務文教常任委員会

委員長 山崎 利広

去る10月24日出発、27日帰島の日程で、25日「移住、定

住促進、産業振興について及び小・中・高連携型一貫教育の取組みについて」長崎県小値賀(おじか)町を、26日は熊本地震で被害を受けた姉妹都市菊陽町を訪れました。

小値賀町は五島列島北端に位置し、人口は平成28年9月現在、2,584人、長崎県内で一番小さな自治体です。

人口減少、一次産業の担い手不足、地域産業の衰退の悪循環になっていることから、移住、定住促進に力を入れており平成13年に町で担い手公社を設立。農業研修生を受入れ、これまでの25名の卒業生のうち16名が町内で就農中である。生活保障費として1人当たり月16万円を支給。公社の設立準備に町が2千万円、JAが500万円出資している。

公社で研修する前に、地域おこし協力隊として1年間受け入れ、現在14名受入れている。平成18年からの移住者は合計で154名となっている。旧教員住宅を改修し、U・Iターン者の定住住宅としている。

主な産業として、水産業では良質な漁場環境を活かした自然管理型漁業、ブランド化に向け稚魚放流などに取り組んでいる。

農業は畑総事業を導入し、水稲、ゴーヤ、実エンドウなどを栽培。肉用繁殖牛も飼育されており、農産物の売り上げの5割を占めている。

観光産業では、隣の野崎島の廃校を簡易宿泊所に改修して体験型観光を推進しており、町営船も2隻所有している。

観光産業の課題として、台風の影響、航路の脆弱性、冬場の閑散期対策、繁忙期のキャパシティ、他の地区との自然景観の違いをいかに出すかなどがある。

また、平成20年に観光町づくり公社を設立し、古民家再生事業に取り組んできたが、経営合理化のためNPO法人と統合することとなった。入込客数は年間約4万人である。

次に小中高一貫教育については、少子高齢化が進み高校生が年々減少の一途をたどり、対策として県が研究事業

に取組んだことがきっかけとなった。

その後は平成9・10年度、県が島の活性化対策の一環として連携型中高教育を開始し、平成11・12年度、文部科学省指定連携型中高一貫教育研究・実践、平成13年度から本格的に中高一貫教育研究実施。平成19年度小中高一貫教育施行・検証が始まり、平成20年度から小中高一貫教育本格実施、平成28年度から30年度教育課程の特例校として指定されている。

一貫教育の良い点は、12年間という教育課程に一貫性があり、専門的でわかりやすい授業ができること。合同教科、教師乗入れで基礎基本の定着。郷土学習、道徳教育の推進がし易いということである。一方、懸案事項は人間関係が限られており切磋琢磨の機会が少ない。人間交流の乏しき、競争心の欠如等をあげられた。

平成31年度以降特例校指定制度がなくなるので、今後のあり方を検討中である。次に菊陽町への表敬訪問に

ついてです。

本年4月14日から16日に発生した熊本地震による被災状況を、復興状況等について説明を受けました。

菊陽町でもマグニチュード7.3、最大震度6弱の地震があり、避難者数最大8千人、延べ避難者数2万9千人、避難所数最大16か所、その他に多数の車中泊があり、総数は不明とのことで、この全ての避難所が閉鎖されたのは7月17日になりました。

被災状況は、16,289世帯のうち、全壊17件、大規模半壊66件、半壊527件、一部損壊4,403件に上り、一時全てのライフラインが止まり、復旧したのは4月30日でした。県全体で亡くなった方は136名で、菊陽町では重傷者9名でした。

被害総額の試算では商業施設、ホテル旅館等の商業関係で817億円、民間の住宅、家財等で310億円、災害による廃棄物処理費で16億円、農業関係その他、合計で1,168億円となっています。被災後、多くの人的支援や

物的支援を頂き、中でも国、

県、各自自治体など33団体から延べ1,225人の応援職員

の派遣を受け物資の受け入れ、避難所設営、被害調査等の業務に従事してもらい、被災後の混乱時に人的資源が不足する中、応援職員の重要性を再認識したとのことでした。また避難所は金をかけて充実した設備にすること。情報伝達システムの整備のための投資が必要であるとのことでした。

本年度復旧・復興予算として29億8,400万円を専決、補正予算で計上し、その財源内訳は国庫補助15億円、起債9億円、残りの5億8,400万円は財調取崩しである。

今後は復旧・復興に向け、平成28年度から32年度で「菊陽町熊本地震復旧・復興計画」を策定し12月に計画を公表し復興に取組んでいく。また激甚災害には認められているので今後は国に対しての陳情等を行っていくとのことでした。

議会全員協議会報告

平成28年
12月6日開催

1 屋久島町農業委員会に
関する条例について、農
業委員会から説明を受け
た。

改正農業委員会法が平成27年8月28日に成立し、平成28年4月1日に施行された。これにより、平成29年7月20日から新たな体制に移行する。

【主な改正のポイント】
・農業委員は、これまで、選挙及び農協等の推薦で選任されていたが、今後、町議会の同意を得て町長が任命することになる。その際、委員候補者は、選考委員会を設置して選考します。

・農業委員の定数は、現行の20名から、14名になる。ただし、農業委員と協力して、農地の流動化を積極的に進めるために『農地利用最適化推進委員』を10人置くこととなる。

・報酬は、基本給と、担い手への農地利用集積・集約化、耕作放棄地の解

消などの成果に応じた能率給が支給される。

2 『屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部のあり方検討会』の開催に伴う町議会代表者の選定について

・世界自然遺産地域を含む国立公園山岳部の適正な利用のあり方を検討するため、環境省屋久島自然保護官事務所から、議会代表者選定の依頼があった。国立公園山岳部の利用についてのビジョンを定め、利用ゾーンに基づく施設の整備等を検討し、質の高い利用体験の提供や利用の増加・集中から生じる自然環境や利用体験への影響の回避・低減のための議論を行うものです。

3 屋久島町電気事業運営協議会の委員について
・産業厚生常任委員会から、2名を選出し、推薦する。

・議会代表は、産業厚生常任委員長を推薦する。

口永良部島新岳噴火に伴う 災害調査特別委員会の調査報告

平成27年6月29日

委員長 寺田 猛

警戒レベル5の事態を受け、避難生活が長期化することが懸念されることから、被災住民への対応や、国をはじめとする関係機関への要望や意見書提出をも含む調査の必要性を確認。

同年7月24日

避難住民代表12名の方々と、宮之浦議場で意見交換会を開く。

同年8月4日

臨時議会において、避難住民への支援強化、帰島後の復興支援の充実、そのための災害救助法や被災者生活再建支援法の弾力的運用と、新たな立法措置の構築、火山活動の監視、観測体制の充実強化、および財政措置を内容とする意見書採択、関係機関に提出。

同年12月1日

電気、通信、水道、道路、および番屋ヶ峰避難所、ヘリポート、金岳小学校などの状

況や工事の進捗状況を調査するため、口永良部現地調査を実施。(その後の12月25日避難解除、帰島始まる。H28年3月25日番屋ヶ峰避難所完成)

平成28年4月11日

伊藤県知事の口永良部現地視察に委員長が同行。住民から、定住促進住宅、道路の2車線化、医師の派遣の要望あり。(6月14日、警戒レベルが3に。25日、前田地区の避難指示が解除)

同11月14日

2回目の現地視察実施の日程について協議。

同11月14日

番屋ヶ峰の避難所、ヘリポート、向江浜地区の状況や火砕流や土石流跡、新設中の定住促進住宅、新設の生コンプラント、金岳小学校、寝待温泉、本村湯向線の崩落現場など、2回目の口永良部現地調査を実施。

議会動向

(平成28年12月、平成29年2月)

平成28年
12月6日

第4回屋久島町議会定例会開会(15日まで)
第5回全員協議会

19日

種子島屋久島振興協議会第2回総会
米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会第2回総会

25日

第1回屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会

平成29年
1月3日

屋久島町成人式
平成29年消防出初め式
第1回屋久島町議会臨時会

6日

第1回全員協議会
県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会(鹿児島市)

4日

第2回屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会
協賛会設立総会

9日

屋久島山岳部保全利用協議会第1回定例会(鹿児島市)
種子島屋久島振興協議会総会

17日

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会
第64回県下一周駅伝大会熊毛チーム激励会

19日

2017サイクリング屋久島
県離島振興町村議会議長会定期総会

21日

県町村議会議長会定期総会
県下一周駅伝大会熊毛チーム解団式

22日

議会全員協議会報告

平成29年
1月27日開催

1 特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金について

・「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」が成立した。

・特定有人国境離島地域には、71島が指定され、屋久島、口永良部島も含まれる。

・この地域の人口減を抑制し、地域社会の維持を支援するため、特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金が創設された。平成29年度予算は、全国で国費50億円の規模となる。

屋久島町は、次の事業に取り組み予定です。

- ① 離島住民向け航路・航空路運賃の低廉化
- ② 物資(農水産品)のうち生鮮品 輸送コストの低廉化

・4月からの実施に向けて、割引率や料金など詳細は、航路・航空路事業

者と協議中です。

2 新庁舎の実施設計の内容報告について

・新庁舎の実施設計の内容を設計業者のアルセツド建築研究所が報告した。

・新庁舎は、行政事務棟、町民窓口棟、バリアフリーのトイレ・授乳室などのほか、エントランスホールに、各集落の情報発信の場としても活用できるフォーラム棟、議会のほか講演会など多目的に使えるホール棟の4棟で構成。

・外観デザインは、厳しい風雨や台風に対し、平屋主体の構成とし、軒を低く深くして雨掛かりを軽減している。また、屋根は雨仕舞いの良い切妻の瓦屋根とし、外壁は耐久性の高い縦板張。

・議場は、議会がない期間も多目的に使えるように、床をフラットにすること、机・イス等を可動式にするなど工夫した。

福祉施設紹介

NPO法人じゃがいものおうち

「みんなで創ろう障がい者福祉」

「じゃがいものおうち」は、障がいがある人もない人も楽しく安心して暮らしていける地域作りを目的に設立されました。現在行っている主な活動は2つあります。1つは、どんな障がいを持っていても屋久島で普通に暮らせる場所作りとして、働く場や日中活動の場、生活の場の整備を進めています。働く場としては2016年4月より、就労継続支援B型施設「にじいろの樹」を開設しました。日中活動の場としては、お年寄りと一緒にの定員10名の地域密着型デイサービス「みんなのおうち」があります。生活の場としては、これからグループホームを尾之間区内で始める予定で、現在体験利用を行っています。

昼間活動できる場と、夕方帰ってくる家となるグループホームがあれば、今までは島

外に出るしかなかった障がいのある方も屋久島で普通に暮らすことが出来ます。屋久島の障がいのある方々を受け入れる施設や制度の整備は、種子島や他の自治体と比較すればまだまだこれからですが、「じゃがいものおうち」は障がいを持っていて様々な個性豊かな方々が、その個性を輝かせることのできる魅力ある暮らしの場作りにも今後も取り組んで行きます。

もう一つは、障がいを持つ方たちと身近に接する機会を作り、障がい者への理解が深まる事を目的とした小学生との福祉交流活動です。現在は視覚障がいのある方・身体障がいのある方々との交流授業や、障がいのある方々と一緒に行うじゃがいもの植え付け収穫作業と、タンカンジュース作り体験交流を安房小と神山小と行っています。

その他にも「もり・けんさん」童謡ハーモニカコンサートや、年末餅つき会、尾之間温泉祭り出店等、地域の方々とのおふれあいの場を大切に活動しております。

「じゃがいものおうち」は一般会員52名、賛助会員32名、賛助団体4団体と地域の方やボランティアの方々に支えられております。年間の活動展開や行事予定など7名の理事を中心に計画立案を行っております。お祭りの出店やお餅つき会などはボランティアの方々の応援があつて成り立っています。



尾之間温泉まつり出店

一般に、障がいを持っている方とそうでない方との比率は5%と言われ、20人に1人は何らかの障がいを持たれているということですが、そういう方や家族の方の中には、誰に相談したらいいのかわからず、また行く場もないと思つて家の中に閉じこもっている方もおられると思います。

どうぞお一人で悩まず、町の福祉事務所、保健所、病院のソーシャルワーカー、民生委員の方などに相談して下さい。「じゃがいものおうち」へも気軽に電話して下さい、またどんなところかのぞいて



ミニデイサービス「みんなのおうち」

みて下さい。「じゃがいものおうち」は障がいを持つ当事者やその家族が母体です。活動を続けて行く中でいつも感じることは、障がい者の社会資源を整備するのに、自助努力だけでは限界があるということです。議会をはじめ、町政へ関わる方々、町民の方々、皆が障がい福祉へ関心を持って頂き、屋久島の現状を知つて、官民一体となつて障がい者福祉に取り組んでいけるようにお力添えをお願い致します。

代表 榎 篤雄



安房小とのじゃがいも収穫

投稿写真

日高 靖磨様 (安房)



2月4日に行われた たんかんのハサミ入れ式(原)

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

クイズ

◆締切日

平成29年5月2日(火)

◆消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

議会事務局クイズ係

電話 43-5900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (500)円

問2 (110億8099万7千円)

(110億8620万7千円)

問3 約(75) %

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に2千円相当の図書券をお贈りしました。

○野元 久榮様(中間)

○前原 昌和様(栗生)

○山崎 スエノ様(栗生)

- 問①農業委員の定数が14名になるのはいつからか？
- ②吉田漁港の災害復旧工事費はいくらか？
- ③□永良部避難訓練が行われたのはいつか？

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは：宮之浦支所議場

12月1日から5月31日までは：尾之間支所議場

編集後記

2月半ば、安房公民館で行なわれた囲碁大会に参加の折、2Fの「屋久島検定」の試験会場を覗いてみました。試験は終了したところで、後片付け中のスタッフのみなさんに様子を聞いたところ、この子供供一人を含む20名が受験したとのこと。検定の問題はガイド有志で作成、9年前から始めた年1回の試験を、これまで延べ約350人が受験しています。別に「屋久島ジュニア検定」もあります。こちらは8年前からで、大人も含め述べ2600人が受験。問題作成には町内の植物、歴史、地質などの研究者がかかわっています。屋久島はそもそもどんな島なのか。検定の問題一つ一つは、島を形成する細胞一つ一つの解明です。それを探求し続ける関係者の努力に報いるためにも、来年は受験しようと考えて後にはしました。(渡辺)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

委員 真辺有次